

少子高齢化に思うこと

望月中学校 三年 柳澤 雄飛

今回、僕が少子高齢化について意見を述べたいと考えた理由は、この間の総選挙で多くの政党が少子高齢化についての政策をあげていたのを見て、少子高齢化についてこれだけ多くの政党が政策としてあげているということは、早急に考えていかなければいけないという危機感を覚えたからです。

僕が通う望月中学校でも生徒数が年々減少傾向にあります。

人口ピラミッドを見ると、佐久市や長野県全体を見ても子どもの数がかなり減少していて、その減少は日本全体にも起こっていることだとニュースで知りました。このような問題は、日本が必ず解決していかねばいけない問題だと僕は感じました。

少子高齢化が進行する原因は主に2つあると僕は考えています。まず1つ目は「未婚率の上昇・晩婚化による出産年齢の上昇」、2つ目は「養育費」です。

1つ目の未婚率の上昇では、1990年から未婚率が急上昇しています。それにより地域の住民や、学校では生徒の数が減少してきていることが全国各地で起こっています。僕のクラスでも社会の授業で人口に関する学習をしたときに、五分の一人の人が結婚したくないとアンケートに答えていました。僕が考える未婚率の上昇の原因は、仕事で得たお金を自分の趣味などに使いたいと考える男性や女性が増えてきていることや自分一人の生活をやりくりしていくので精一杯になってきている人が多いからだだと思います。クラスメイトのアンケート

でも、その理由として「自分だけの時間が欲しい」「家庭での過ごし方は自分で決めたい」「金銭面で自分のために使いたい」などがあげられました。

未婚率を下げるためには、消費税など国民にかかる重い税を少し下げ、国民の負担を政府が和らげてあげたりすることによって未婚率の減少につながるかと僕は考えています。また、晩婚化については女性の社会進出による出産年齢上昇で起きていることだと思います。1980年から女性も社会進出することが始まり、今ではほとんどの女性が働いていると思います。家庭を築いている家族は、男性も女性も働き、共働きをする割合が増えてきていて女性の社会進出が進んでいます。

僕の親も共働きで、小さい頃は親が迎えに来るまで幼稚園で待っていたり、遅くまで祖母の家に居たりしました。僕の祖母の家には同い年の従兄弟がいて、夜まで遊んだり、ご飯と一緒に食べることもあったりして、親がいなくても僕も安心して過ごすことができ、親もそれが助けになったと言っています。

インターネットで調べてみると、財務所では女性の「未婚」について調査をしていて、その分析では女性は自分の仕事への理解や家事・育児への協力を求めているが、男性の育児休暇が推奨されている企業が増えてきていると、現実には男性の家事や育児の時間は大きく変わっていないため、男性の家事・育児への協力が得られない現実があると述べられています。そのため、「今の社会の現状では、理想と現実のギャップを埋められていない」とあり、家事・育児への不安や負担感を強く感じて、二の足を踏んでしまうのかなと感じ、自分はイクメンにならなければならないと思います。

2つ目は、養育費と生活費についてです。

子どもを育てるためには、多額の養育費がかかります。また近頃では、物価高により食料品をはじめ様々な生活物品が高騰し、家族全体の負担が大きくなってきているため、子どもを二人産むことにも困難だと感じる家庭が増加してきていると僕は考えています。一つの家庭が一人の子どもを育てるだけに留まると、日本の人口が一人減少します。ですが最近では、兵庫県明石市で子どもが中心の独自政策「5つの無料化」というものを行っています。

「5つの無料化」とは、18歳までの医療費を無料にすることや、第二子以降全員の保険料を無料にすることなど、子どもを育てるための手厚い保証のことです。このような取り組みを行うことで、自己負担を大幅に軽減できると思います。

また、住居にもお金がかかり、家族が多くなれば広い部屋や数も必要になるため、空き家などの活用や自給自足ができる空き地の活用など、佐久市に住んで子育てがしたい、豊かに暮らしたいという魅力を感じさせる街にすることが必要だと考えます。

このように、何人も子どもを産みたいと思った家族が、子どもが自立するまでしっかり育てあげることができると環境づくりを、政府や県議会、市議会を中心として実行していくことが必要だと僕は感じています。それには18歳以上の人に与えられた選挙権を行使して責任を果たし、日本の未来のためになると一番感じられた候補者へ、貴重な一票を投票することがとても大切なことだと思います。僕も3年後には選挙権を持つことができるので、その際は候補者や政党の政策をしっかり聴き、日本の未来のために一票を投じようと思います。これらことから、未婚率や晩婚化の上昇、養育費や生活費などについて、お金が大きく関わっていると分かりました。そのため、子どもを育て

るための手厚い保証や生活環境、消費税を下げるなどの政策を行っていくことが少子高齢化の対策につながっていくと思います。安心して子育てができる環境を整えることが必要で、市にとっても活性化につながる空き家などの活用や自給自足ができる空き地の利用など、佐久市に住んで子育てがしたい、豊かに暮らしたいという魅力を感じられる街づくりが少子高齢化の対策につながっていくと思います。ぜひみなさんと一緒に考えていきましょう。